

今は3月、長崎市の学校では卒業式が次々に行なわれています。入場の順序も呼名も男が先で、女が後。たのしい人生の門出の時。そして4月には入学式。希望に胸を張る姿に入ると男が先で女が後。どうしてかな？ 女の子の心は空気のぬけた風船

みたりに
 しぼんで行
 きます。
 今年も又
 長崎市とその
 周辺のおび
 の義務教育
 の学校と
 左記の要請
 書をおくり
 ました。
 1170. 男と
 女と、どわ
 けの式が
 行なわれる
 日迄、ばっ
 ーまん達は
 今年、心を
 送りつけ
 ます。

長崎市立小・中学校々長殿

要 請 書



今年も早や立春を過ぎ、春の気配も心なしか感じられる日々となりました。皆様にはお褒めなくお過ごしのこととお慶び申し上げます。さて女子差別撤廃条約の中におかれております「教育の中における(差別)慣習の除去」については、日頃から教育現場におきましてもその精神を生かして取り組んでおられることとおもいますが、今年も卒業式等におきましては、以前の「男が前、女が後」の変形五十音順の呼名をぜひ『男女混合五十音順』にあらためて頂くよう、要請致します。

世の中は大きく変わっています。身体測定が別だから(立岡指導部長・談)、又煩雑だからという理由で毎朝の呼名から始まって会場への入場順、座席、証書の授受、そして退場までをすべて男の後に女を位置付けて卒業させるということは、もう明らかに性差別以外の何ものでもありません。

どうか、一つの人生のステップである希望あふれる卒業式には「男女平等教育」の精神をそのまま生かされ、女も混合五十音順の呼名で胸を張って卒業証書が授与されます様、過去に差別されて胸の痛む卒業の春を送った女達の祈りを込めて、ここに要請致します。

1991年2月25日

ばってん・うーまんの会

ミス・コンテストの廃止がよい!

ミズ・コンテスト について考える集いと開催!

2月25日 市民会館会議室

新聞「信濃」の捕りまわしと共に ミス・コンテストを主催している。又主催した事ある関係者から話を聞き知ることができた。おと。

社団法人 長野観光協会事務局長
ミス・コンテスト選考委員会事務局長 の高江 弘(男性)が出席

まが「はつらまの津田事務局長が 今回のミス・コンテストに対する「フォーラム」の取り組みを説明した。数々のミス・コンテスト。旅行のコンパニオン、制服のコンテスト、J.R.のキャンペーンガール等々について 女性の権利を守る立場から 抗議に来た事と語った。

ミズ・コンテストの条件にどんな問題点があるか?

- 佐世保市のコンテストに両親の住所、名前、職業を書かせると書を出している。どうして両親の名が重要なのか? おかし。女性は人前の人前という前提が感じられる。
- 女性だけが主として外見で判断されるのはやめた。
- 今日、職場で35歳の男性に「昨年、場市がミス・コンテストがあったけど、あんなに多く出たのだからと聞いたら、拒否された。『人の目にさらされるのはイヤ』という理由だ。その人だってイヤだ。特に水着でさらされるのはイヤだ。身体だけを見られるのはその商品化だ。
- 人前を外見で評価する事はやめた。本人の責任で得たものでないものを評価する事は人前性の無視だ。自分が努力したものを評価したい。というは問題だ。
- ミス・コンテストはダメだ。ミスとかミスという言方そのものが人権無視だと思ふ。女だけ、独身だけ。というの意に equal 性を感ずる。
女だけが花 という言方もある。
- ミス・コンテストだけでなく、その他人間とコンテストで選ぶ事に対する疑問がある。人間の評価会は人間の商品化だ。ド市場と同じ事ではないか。
- 「ミス〜」を行事としてやる事は思想の貧乏をあらわしている。女を安んずる扱いは同じ事として男性は耐えられるか?

ミズ 4月に「ミス・コンテスト」をしようとしている高江さんに話した。

400年の歴史がある観光都市を代表する親善使節をしよう

? 使節ってどこへ行くの? 各地の物産展へ行くと観光宣伝もある。「1日〜長」をする。観光船もある。各地のイベントへ行く.....

改善すべき事は 昨年のミス・コンテストの条件より改善した。
年齢制限は18歳以上だけにした。水着着るはやめた。両親の事はわからない。
残る条件は容姿、教養、態度、健康の4つです。

ミス・コンテストの収入は?

年間35回。70日以上行事に参加出来る人という条件がある。→学費、家賃、という名の文藝者しか出来ない仕事だね。

賞金20万円。行事に参加した時だけ日額800円を支払う(美容院代、化粧品代は二の中に入っている。別途支給なし) 夏、冬の制服着支給。持ち出しの貸衣装代を行事の主催者が支払う。交通費は今の都度タクシー、タクシーで済む。

↓
最低賃金法違反の事あり。就業機会が少い地方都市における低賃金の人使いだ。

高江さんの結論。国際観光都市だからミス・コンテストは必要だ。

討論。ミス〜は果して必要か。

- 美しい人をもつて来れば人が集まるだろう → ウソ! 観光客の3割は女性!
- 「職場の花」として使おうと同じ事はいいか 「雇用均等法」違反。女性をやとう時は子ちゃんとい人前の賃金を払え というのが私達の要求。
- 1年ごと「ミス・コンテスト」をしよう交代させる。経験の積み重ねが必要だし。便りでの発想がある。若さの使い捨て。低賃金にする若さ女性の使い捨て。それとあんなに忘るはあか。

